

戦後80年

—戦争も核もない世界を武蔵野から—



中島飛行機武蔵製作所西工場跡地 現 武蔵野中央公園

戦後80年を迎えました。第二次世界大戦中、現在の武蔵野中央公園周辺には、航空機エンジン工場の中島飛行機武蔵製作所がありました。この軍需工場を標的として、米軍のB-29爆撃機により、昭和19年から終戦までに合計9回もの空襲があり、多くの方々が犠牲となりました。市では、平和への強い思いから昭和57年に「武蔵野市非核都市宣言」を行い、現在も市民・市民団体による非核都市宣言平和事業実行委員会と協力して平和の大切さを伝える事業を行っています。また、平成23年には、市内に初めて空襲があった11月24日を「武蔵野市平和の日」に制定しました。

武蔵野市ではさまざまな平和関連資料などを発行しています



戦争体験記録集 第Ⅰ～Ⅳ集



中島飛行機武蔵製作所物語



子どもとおとなの日本国憲法



パネル展資料



平和・憲法手帳



平和啓発映像 第1～4作

詳細は市ホームページ参照



市内の戦争遺跡を歩く

- ① はらっぱむさしの
「武蔵野市平和の日」
制定記念樹



- ② 中島飛行機武蔵製作所
爆撃照準点
現 武蔵野中央公園



- ③ 中島飛行機武蔵製作所
第一青年学校跡地
現 第四中学校



- ④ 関前高射砲陣地跡地
現 グリーンパーク遊歩道



- ⑤ 延命寺に展示された
爆弾の破片



- ⑥ 中島飛行機武蔵製作所
正門跡
現 高齢者総合センター



- ⑦ 中島運動場跡地
現 陸上競技場



詳細は武蔵野市
観光機構ホーム
ページ参照

